	工業高等	事門学校	開講年度 令和06年度 (2	2024年度)	授業科目	 日本文化論(MS)						
科目基礎			, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	/								
科目番号	~11 J TIA	0093		科目区分	一般/選技	R						
授業形態		授業		単位の種別と単位								
開設学科			テム工学専攻	対象学年	専2							
開設期		前期	7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	週時間数	2							
教科書/教		『国語便	 覧』(木科で使っていたもので構わな			 すろ.						
担当教員	(1/1)	荻田 みど										
<u></u>		<u> јзхш</u> 07 С	- 9									
1 古典文 2 古典文 3 古典文 4 現代技	文学に触れ 文学がどの 文学を通し 支術を融合	て.日本文化	ができる。 れてきて,現代にどのような影響を及 の特質を理解できる。 学の新たな世界を創造できる。	ぼしているのかを	理解できる。							
ルーブリ	ノック		田相の 12 70 70 70 70 70 70 70 70 70 70 70 70 70			ナかなしがりの日ウ						
			理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レク		未到達レベルの目安						
評価項目1			古典文学に触れ,親しむことが優れてできる。	古典文学に触れ,親しむことがで きる。		古典文学に触れ,親しむことがで きない。						
評価項目2			古典文学の受容や現代への影響を優れて的確に説明できる。	古典文学がどのように受容されて きて、現代にどのような影響を及 ぼしているのかを理解できる。		古典文学の受容や現代への影響を理解できない。						
評価項目3			古典文学を通して,日本文学の特質を優れて理解できる。	古典文学を通して,日本文化の特質を理解できる。		古典文学を通して,日本文化の特質を理解できない。						
評価項目4			現代技術を融合させ, 古典文学の 新たな世界を創造することに優れ ている。	現代技術を融合る新たな世界を創造	させ, 古典文学の きできる。	現代技術を融合させ, 古典文学の 新たな世界を創造できない。						
学科の至	引達日煙T	項目との関	· ·	•								
		<u>祭品での例</u> 標 (MS-iv)	MI.									
教育方法		10 IV)										
概要		, 日本文· 【Course The cou acceptar a wide ra	源氏物語』は約1000年前に作られ、その後絶えることなく読み継がれてきた。現代に至るまで幅広く影響を与えており、日本文化に通底する価値観を認識する上で欠かすことができない作品である。 【Course Objectives】 The course aims to perceive the essence of Japanese culture, focusing on reading "Genji Monogatari" and its acceptance. "Genji Monogatari" was written about 1000 years ago and has been read continuously. It has had a wide range of influences up to the present day, and is indispensable for recognizing the values underlying Japanese culture.									
授業の進む	め方・方法	前半は講 (学習方) 授業には	【授業方法】 前半は講義を中心に進める。後半は各自課題を見つけ、調査・分析し、発表する。 【学習方法】 授業には真剣な態度で臨むとともに、本質を捉えようと努力すること。 また、得た知識を活かしつつ、現代にどのように応用できるかを深く考えること。質問は適宜応じる。									
【定期試験の実施方法】 実施しない。 【成績の評価方法・評価基準】 研究発表・質疑応答・課題レポートの評価(100%)の合計をもって総合評価とする。到達目標に基づいた。 の基準とする。 【履修上の注意】 本科目は授業での学習と授業外での自己学習で成り立つものである。 【教員の連絡先】 研究室 B棟3階 (B-301) 内線電話 8904 e-mail: m.ogitaアットマークmaizuru-ct.ac.jp(アットマークは@に変えること。)												
授業のほ	量性・履ん	多上の区分										
	ラエ・//後1 -イブラーニ		□ ICT 利用	□ 遠隔授業対応	,	□ 実務経験のある教員による授業						
授業計画	<u> </u>	\	155 Mile - L. prin	Т	NB-2'							
			授業内容	週ごとの到達目標								
			シラバス内容の説明,日本文化を読み	・解く1	1, 2, 3, 4							
		2週	日本文化を読み解く2	1, 2, 3, 4								
					1, 2, 3, 4							
			日本文化を読み解く3									
	1st∩		日本文化を読み解く 3 日本文化を読み解く 4		1, 2, 3, 4							
前期	1stQ	4週										
前期	1stQ	4週 5週	日本文化を読み解く4		1, 2, 3, 4							
前期	1stQ	4週 5週 6週	日本文化を読み解く 4 日本文化を読み解く 5		1, 2, 3, 4 1, 2, 3, 4							
前期	1stQ	4週 5週 6週 7週	日本文化を読み解く 4 日本文化を読み解く 5 日本文化を読み解く 6		1, 2, 3, 4 1, 2, 3, 4 1, 2, 3, 4							

	10週	研究発表 2			1, 2, 3, 4					
	11週	研究発表 3			1, 2, 3, 4					
	12週	研究発表 4			1, 2, 3, 4	1, 2, 3, 4 1, 2, 3, 4				
	13週	研究発表 5	1, 2, 3, 4							
	14週	研究発表 6		1, 2, 3, 4	1, 2, 3, 4					
	15週	講評, まとめ			1, 2, 3, 4					
	16週									
モデルコアカ	リキュラムの)学習内容と到達	達目標							
分類 分野		学習内容	学習内容の到達目標				到達レベル	授業週		
評価割合										
	試験	発表	相互評価	実技等	ポートフォリオ	その他	合語	†		
総合評価割合	0	30	0	0	70	0	10	100		
基礎的能力	0	30	0	0	70	0 100		0		
専門的能力	的能力 0		0	0	0	0	0	0		